



今後の予定と 講座の報告

☆紙芝居講座

2018年3月30日

「紙芝居名人になろう！」

こども向けの紙芝居講座。次号で報告します。



☆紙芝居講座 in 呉

2018年9月9日(日) 10:00~15:00

場所：ビューポートくれ

講師：酒井京子

広島県呉市での紙芝居講座です。

紙芝居文化の会主催では中国四国地方初です。

新広島から30分。名古屋から2時間45分。

中国地方観光をかねてお手伝いに行こう！の話が
すすんでいます。修学旅行気分はいかがですか？

☆紙芝居講座 2018

2018年11月17日(土) 18日(日)

東京吉祥寺 東急 REI ホテル

詳細は後日。宿泊予約はお早めに！

世界 KAMISHIBAI の日

12月7日を「世界 KAMISHIBAI の日」*と
登録しました。

12月7日には世界中で
紙芝居を演じましょう！

楽しい会を今から
計画しましょう。

*日本記念日協会認定



(ポスター案：検討中)

おしらせ

紙芝居はうす 5月14日はお休み

今回は6月11日(月)です



コラム <ま・間・ま>

1973年名古屋市に日本初の子どもの本専門店が誕生しました。「メルヘンハウス」です。1965年「子どもの図書館」(石井桃子著・岩波新書)出版を機に、文庫活動・子どもの本への関心が高まってきた時代でした。絵本も児童文学も新しい目線で出版されだし、どんな本を選んだらいいか、どう子どもに薦めたらいいかなど、考えるようになってきました。そんな中でメルヘンハウスの出現は安心して子どもの本が買える環境に多くの人が安堵し、期待したことでしょう。そして、いつまでも名古屋にはいい本屋があると安心しきっていました。ところが2018年3月で閉店！？知らされた時のショックは大変なものでした。最近では情報取得の環境がすごい勢いで変化し便利になってきました。その結果、足を運ぶことも無く本が入手できる時代になり、そんな煽りをもろに受けることになったのでしょうか。45年の時間は、子・孫へと『一人でも多くの子どもに読書の喜びを』という店長三輪さんの思いがつながる長さです。閉店を知って毎日のように惜しむ人が集まっているのを見るとつながりは確信できます。本屋という形は無くなっても心にうけた温かい豊かな情報はずっと続いていくでしょう。ありがたい気持ちを伝えていく、それが歴史の中に生きていくってことなんじゃないでしょうか。



紙芝居文化の会 あいち とは

こんなことやりたい

- ・通信を発行します
- ・紙芝居講座を開催します
- ・情報交換をします

会員になるには

紙芝居文化の会にご入会下さい

詳しくは、紙芝居文化の会：

<http://www.geocities.jp/kamishibai/>

または、下記連絡先まで

紙芝居文化の会あいちの会費は不要です

愛知県内だけでなく近隣の方々もご参加下さい

連絡先

〒470-0126 日進市赤池町村東149

紙芝居文化の会あいち代表 近藤洋子

FAX 052-801-5794

kamishibaiaichi@yahoo.co.jp



紙芝居文化の会 あいち

第11号
2018.4



紙芝居文化の会とは

- ・紙芝居を愛する人
- ・紙芝居に興味のある人
- ・紙芝居を演じたい人

さまざまな思いの人、海外の人とも
出会い、交流する場です。

(2001年創立 事務局東京都三鷹市)

編集者が語る絵本の話

2018.2.26 (月)

14:00～ ウィンクあいち

講師 酒井京子



「編集者が語る絵本の話」を企画して

作者の思いが、文字と絵で表現され、印刷製本して絵本になります。絵本の奥付には、著者名と印刷・製本、そして発行した社名が記載されますが編集者の名前は、まずそこには連ねられません。作家の思いを受け止め寄り添い、作家と想いを同じくして出版に向かう、そのはざ間で編集者は作品を仕上げていきます。

読者に届けるための編集者の地道な作業、字数やページ数、挿絵の大きさや位置。作家を励ましたり、取材同行、原稿が上がるのを夜通し待っていたり・・

著者が自作について話す講演会や第三者による絵本等の解説は、見聞きする機会がたくさんあります。しかし、作品が世に出るまでの果てしない時間や喜び、作家の苦悩や横顔。一つの作品が生まれる本当の物語は、編集者にしか語れないのです。

1974年刊「おいしいのぼうけん」1983年初版「14ひきのシリーズ」等、日本を代表するロングセラー絵本の編集者(現童心社会長)酒井京子さんの絵本創作論を、皆様に聞いて頂きたいと考えました。講座に参加して下さった皆様に心よりお礼を申し上げます。(大野)



(参加者の感想より)

- ・「赤ちゃんにも文学がわかる」名言です
- ・作家の横顔だけでなく後ろ面まで浮かぶお話でした
- ・装丁のデザインの視点も新鮮でした

(講師の酒井さんより、こんな言葉も)

話したいと思っていた絵本のこと、ずっとやってきた編集の仕事をやっと話せた。
今度は、どうして紙芝居に深く関わったかについても話したい。
熱心に聞いて下さった「あいち」のみなさんありがとう。

絵本『いないいないばあ』の作品の魅力についてや、『びゅんびゅんごまがまわったら』の制作エピソードを聞きたい等の感想が多くありました。ぜひもう一度お聞きしたいですね。

平和の紙芝居リレーin紙芝居はうす

2018.2.12 (月) 17:00～

1年前の2月12日、まついのりこさんが旅立たれました。お知らせを聞いた時は、ショックで寂しかったです。でも、のりこさんが播いてくれた紙芝居と平和の種は芽がでて、ぐんぐん伸びています。



1周忌のこの日、まついのりこさんの作品だけを演じました。知らない紙芝居、初めて演じるものもありました。特に算数や国語の紙芝居は新鮮で「新学期にぜひ」の声もありました。手話をみんなで体験したり、最後は沖縄の踊りで賑やかに終わりました。松井エイコさんからのりこさんのお話も伺え、笑い声のたえない会でした。



(プログラム)

- ・おやつのかんだよ
- ・たからさがし
- ・みんなでぼん!
- ・一手話ってすてきなことば
- ・なかまよふえろ
- ・しずかにしずかに
- ・ふしぎなくるま
- ・カチャーシーをおどろうよ

保育者のみなさんと紙芝居講座

2018.2.12 (月・祝)

金山労働会館

講師 松井エイコ

主催：全国福祉保育労働組合
東海地方本部



保育者向けの研修会と一緒に受講しました。

(感想です)

紙芝居の魅力をわかりやすくお話下さいました。作品を好きになることで、内容、気持ちが立ち上がるなど心をこめて語りかける事の重要性を痛感しました。

他にもスウェーデンの写真家が、生まれたばかりのあかちゃんに「あなたの人生は素晴らしいよ。生まれてくれて良かったね」と声をかけたら、あかちゃんが眼をあけてくれたお話も心に残りました。

『二度と』の実演や『あの日の空の青を』の朗読では、エイコさんの平和への深い思いが心に響きました。

紙芝居お話会<プログラム紹介>

★鶴舞中央図書館 つるまとしょかんまつり

2017.10.22

<プログラム>

『ねえあそぼうよ!』

『こぎつねこんちのにわそうじ』

『おうさまさぶちゃん』

『ふしぎなくるま』

のせてのせてを
イメージして選びました



★瑞穂図書館 みずほとしょかんまつり

2018.2.17

<プログラム>

『みんなでぼん』(大型)

『こぎつねこんちといちご』

『がらがらごろごろ』

『したきりすずめ』



★めいとう図書館 紙芝居のおはなし会

2018.3.30(金)

<プログラム>

紙芝居だけをたっぷり!

『のはらにね』

『まーのなかまさがし』

『たんぽぽねこ』

『びっくりたまごはだれのもの』

『しりとりパーティー』

『あんもちみつ』

『おじいさんとトラ』

『カンガルーのポケット』

『アリとバッタとカワセミ』

『ふうたのはなまつり』



お話会などでのプログラム、日時をお寄せください。
ご紹介します。